



2022年11月9日

ALS 治療の新しい選択肢を 日本発で
ALS 治療薬「RADICAVA® Oral Suspension」
カナダ承認取得のお知らせ

三菱ケミカルグループの田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役：上野裕明、以下「田辺三菱製薬」）は、RADICAVA® Oral Suspension（ラジカヴァ経口懸濁剤）（一般名：エダラボン）の筋萎縮性側索硬化症（amyotrophic lateral sclerosis：以下、「ALS」）を適応症とする承認を、11月8日にカナダにおいて取得しました。

ラジカヴァ経口懸濁剤は、ALS 治療薬であるエダラボン点滴静注製剤（日本製品名：「ラジカット®注 30mg」および「ラジカット®点滴静注バッグ 30mg」）と同一有効成分を含む製剤です。

ラジカヴァ経口懸濁剤は、5 ミリリットルを 1 日に 1 回、経口または胃ろうから投与されます。

エダラボンの投与経路は点滴静注に限られていましたが、2022年5月12日にラジカヴァ経口懸濁剤（米国製品名：RADICAVA ORS®）が承認された米国においては、経口や胃ろうから投与できるという新たな選択肢が増えたこともあり、既に、9 月末時点で約 2000 人の ALS 患者さんに使用されています。

ALS 患者数は、カナダで約 3 千人*¹、米国で約 2 万人*²と推定されています。

田辺三菱製薬グループは、注射による痛みや投与のための通院など、ALS 患者さんの負担を軽減するため、ラジカヴァ経口懸濁剤を新たな ALS 治療の選択肢としてお届けできるように、既に承認となった米国、カナダ以外にも、日本およびスイスにて、承認申請を実施しています。

*¹ Benchmarking Survey, Federation of ALS Societies of Canada, 2016.

*² Arthur KC, et al. Projected increase in amyotrophic lateral sclerosis from 2015 to 2040. Nat Commun. 2016 Aug;7:12408.

お問い合わせ先

三菱ケミカルグループ

コーポレートコミュニケーション本部

大阪コーポレートコミュニケーション部

TEL: 06-6205-5119